

～発達障害の理解と対応について学びました～

昨年10月31日、まかせて会員・どっちも会員を対象にスキルアップ講座を開催しました。今回は、香川県発達障害者支援センター「アルプスかがわ」センター長の新井隆俊先生を講師にお迎えし、「発達障害の理解と対応」についてお話ししていただきました。



子どもをほめるか叱るかは大人のセンスです

講師
香川県発達障害者支援センター
『アルプスかがわ』センター長
相談支援員 言語聴覚士
新井 隆俊さん

先生は、周囲の大人が「困った」と感じる子どもの行動の背景には、「発達特性による4つの困り感」があるとし、それぞれについて具体的な事例を交えながら、丁寧にお話しくださいました。

対応のポイントとしては、子どもができたことを認めてほめることや、励ましやヒントによる手助けなど、「スモールステップ」による支援方法が紹介されました。

怒らずにほめることや認めることが効果的であることに加え、子どもの積極性をつぶさないよう、日頃から子どもの行動に関心を持ち、リスペクトの気持ちを忘れずに寄り添うことの大切さが伝えられました。



発達特性による4つの困り感を理解するところからはじめましょう



刺激に翻弄される困り感

- 集中することが苦手
- 目的や段取りが分からない
- 忘れることが多い

日常的に“失敗”が多い
自分を肯定できない

認知や記憶の困り感

- 具体的に理解できない
- 見聞きしたことが定着しない
- 書字・計算など作業が苦手

簡単なことが習得できない
自尊心が著しく低下する

想像力の困り感

- “見えないもの”が想像できない
他者の視点・未来・社会通念など
- 適切な行動が分からない

“分からない”ことを
理解してもらえない

感覚の困り感

- 日常の刺激がこわい
視覚・聴覚・触覚・バランスなど
- 世界を適切に捉えられない

日常的に“つらさ”がある
暮らすだけで疲れ果てる

質問タイムでは、発達障害や吃音のある子どもたちへの対応について、さまざまな質問が寄せられました。知識を深め、より子どもたちに寄り添ったサポートをしていきたいという、まかせて会員さんの強い思いが会場全体から感じられました。

「子どもも頑張っている」という視点を大切に、これからも子どもたちを支えていきましょう。

熱心にご受講いただきました皆さま、ありがとうございました。
今年度のスキルアップ講座は9月・10月に開催予定です。お楽しみに！



子育てをサポートするまかせて会員になりませんか？

社会の変化に伴い、ファミサポへのニーズはますます多様化し、依頼も増加傾向にあります。そのため、既存のまかせて会員さんのパワーだけでは、十分な対応ができない状況になってきています。今、求められているのは、みんなが少しずつ力を出し合い、支え合いながら築く、子育てのサポート体制です。

子育て中の方でもできるサポートを！

現在おねがい会員さんでご登録の方も、少し手が空いてきたら、子育てをサポートするまかせて会員になりませんか？

「全部は無理だけど、ちょっとなら肩を貸せるよ！」そんな姿勢で、サポートをし合いませんか？



まかせて会員養成講座をご受講ください。(全15講座)

- 参加料無料
- 無料託児付き

講座は子どもの発達や小児看護など、ご自身の子育てにも役に立つ内容となっています。

たかまつミライエにて、年3回開催します

15 講座を少しずつご受講いただいても構いません。ご予約時にご相談ください。

第1回まかせて会員養成講座

7月9・10・14・16・17日

第2回まかせて会員養成講座

11月10・12・13・14・20日

第3回まかせて会員養成講座

2月16・18・19・26・27日



救命救急再受講のお願い

登録から5年以上経過したまかせて会員さんは、下記の講座の再受講をお願いします。詳しい日時はホームページでお知らせします。ご都合のよいときにご受講ください。

『子どもの一次救命処置』

『家庭における子どもの安全対策と応急手当』

